



2017年（平成29年）6月6日発行 第1号☆

はら 幡羅遺跡にファンクラブ 出来ました！

幡羅遺跡は、深谷市東方にある古代の役所跡です。全体の保存状態がよく、とてもいい遺跡なのにあまり知られていません。幡羅遺跡の大事さや面白さを多くの人に知ってもらい、未来に残していきたい。

でも、そのためには仲間を集めなくては！深谷市在住の、幡羅遺跡発掘経験者が3人集まって、ファンクラブを作りました。幡羅遺跡の守り人として、会員の方々と楽しく活動していきたいと思っています。

今回、会報も作りました！幡羅遺跡のマスコットキャラクター、カマド神の「ハラ君」の名前を会報に付けました。どうぞよろしくお願いいたします。

<第1回活動報告>

東大の佐藤^{まこと}信先生&ゼミの学生さんたち

ちと幡羅遺跡・中宿遺跡の見学会

2017年4月8日（土）

初めての活動なのに、朝から雨です。

（どこかに雨男がいるのでしょうか？）

電車の遅れで、東大の佐藤先生たちが到着するまで時間があつたので、ハラファン会員16名は、まず1周目、深谷市教育委員会のCさんの解説

で、幡羅遺跡を回ります。

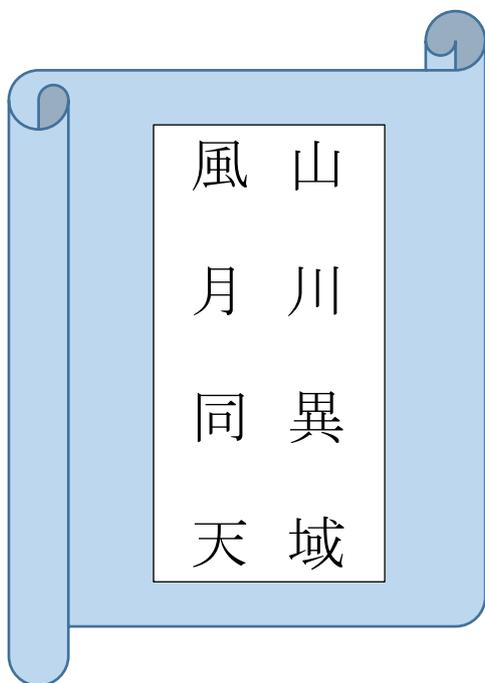
発掘OBの懐かしい顔ぶれや、普段発掘作業や整理作業をしている方々が、一緒におしゃべりしながら現地を歩きました。

いつしか雨は止み、佐藤先生とゼミの学生さん達18名が着いたので、今度は2周目です。東大の学生さん達の勉強を邪魔しないよう、今度は少し離れて小さな声でお話しながら回ります。Cさんの解説は、今度はいつもより力が入っていて詳しいです。東大の学生さん達は、熱心に解説を聴いています。時々、佐藤先生が普段使っている分かりやすい言葉で、解説を付け加えて下さるのがとても面白いです。一番面白かったのは、国司が巡行して来た時に、郡司がおもてなしをする話です。館（四面^{ふる}廂^{びし}建物、立派な宿泊施設）で3夜連続で行われる宴会（三日^{くわい}厨）は、大きな器に豪華な料理、山の獣のシカやイノシシ、内陸なのにハマグリ等の海の幸まで取りよせて、とても贅沢なものだったようです。（廃棄土坑の遺物からわかるそうです）

でも、それは郡司が自分の勤務評定をよくしてもらうためやっていたようです。忖度（そんたく）するってことだそうです（笑）

午後は、岡部道の駅のそばにある、中宿遺跡に移動しました。高床式倉庫の中を実際に探検できて、楽しかったです。

Uさんが、佐藤先生からサインをもらいました！このような漢詩も書いていただきました。
(なんて読むのでしょうか？先生のサインは知的ですね。)



さんせんいきをことにすれども
ふうげつてんを同じうす

(あなたと私は、住む場所は違っても
同じ空の下で生きているのです。)

ながやまおう
長屋王の作った漢詩とされています。

長屋王とは、奈良前期（684～729）の政治家。天武天皇の孫。高市皇子の子、聖武天皇のもとで左大臣となり、藤原氏を抑えて皇親政治を推進。藤原4兄弟の陰謀といわれる“長屋王の変”で自殺。その後“長屋王の呪い”といわれる言い伝えは、は有名である。ちなみに現在、奈良市にある、ヨーカ堂（以前はそごう）が閉店するらしいのですが、長屋王の邸宅跡に建ていたので、長屋王の呪いでは？とインターネットでもとりあげられているらしいです。(U)



発掘文芸コーナー



私達が幡羅遺跡 21 次（2007 年、平成 19 年）で、古代の道路跡の発掘作業をしていた頃、流行っていた言葉遊びです。発掘の用語を使って、ダジャレを作ります。暑い日も寒い日もある発掘は、時にはきつい肉体労働です。でも、みんな笑いながら考えていると、とても楽しくなってきた、仕事がかどるのです。実は、かなり真剣に考えて作られている作品を紹介します。

古代妄想

夜の壁テラス（カフェテラス）

四面^{びきし}廂の壁テラス

移植が曲がったまま（勾玉）

スタッフは、バカ棒君の

パパなのだ



移植（異色）の新人

8時だよ！全員周溝！！



とてもかわいい絵と一緒に作品は、M・Tさんです。ありがとうございました！
まだまだありますが、紙面の関係で、紹介できないので、次号にしたいと思います

発掘文芸コーナー作品募集中です！（発掘川柳、俳句、アート作品など、発掘に関する内容なら可。ペンネームや、イニシャル、自分で考えたレキシネームでも投稿できます）

幡羅遺跡報告書 I から

幡羅遺跡 1次 (2001 4.11~5.31)
2次 (2001 10.17~12.7)

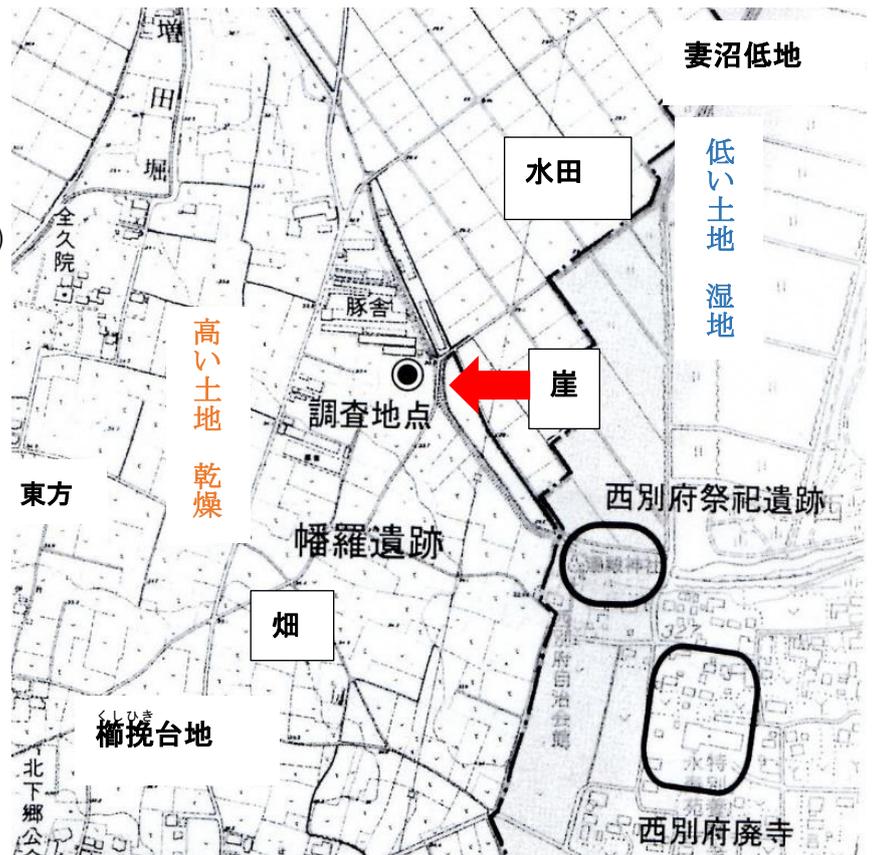
幡羅遺跡の発掘は、ここから
始まった！

幡羅郡の正倉跡を発見！？

倉庫は、高燥なところに建てよ！

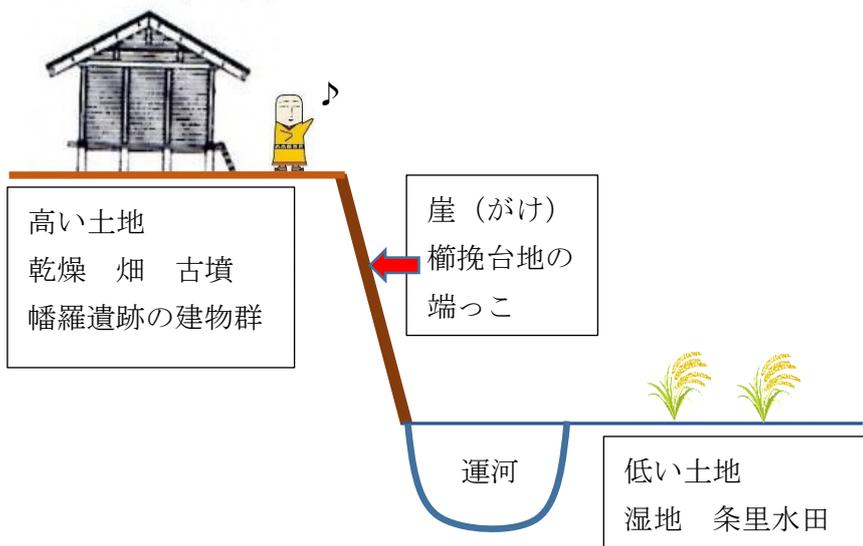
100年先を考えた、幡羅遺跡の

特別な保存方法にも注目！



古代の大型倉庫跡が2棟発見され、大きいことと（約58㎡ ≒ 35帖分！）2棟の規格がそろっていること、立地条件など（西別府廃寺・祭祀遺跡からも近い）から、古代幡羅郡の正倉と推定されました。高く乾燥した、水害にあいにくい良い場所に、もともと古墳があり、古墳の一部を壊して倉庫が建てられて

ています。重要な遺跡であるため、保存する事になりました。保護のため、遺構全体にまず砂を敷きつめてから、土を埋め戻しました。Cさんによると、砂を敷くのは、「この深さまで発掘しました」ということが、100年後、200年後の未来の人達にもわかるようにとの意味があるのだそうです。幡羅遺跡では、すべてにこの保存方法が使われています



幡羅遺跡ニュース

埼玉県議会（2016年12月8日）の一般質問で、深谷市出身の江原くみ子議員から、地元問題として、幡羅遺跡のことが質問されました！（5月初めに入った読売新聞折り込み広告より引用）

地元問題① 幡羅遺跡について

935

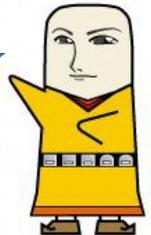
あまり知られていないかもしれませんが、幡羅遺跡は「郡役所」「寺院」「祭祀」の3つ揃った全国でも珍しい遺跡であり、保存状態もよく、学術上も高く評価されている遺跡です。地元としても、国の史跡をして指定されるよう努力していますが、県の支援について伺いました。

A

この遺跡群は極めて高い価値があることは明らかになっています。今後、地元の深谷市・熊谷市が保存管理や活用などの方針を決め、地権者の同意を頂きながら、指定手続きを進めていくこととなります。史跡指定に向け、技術的助言や、両市間の意見調整を積極的に行い、国への働きかけをしっかりとこないます。

広報ふかや（2017年）5月号
に入っている、ふかや市議会だより（No.46）
にも、幡羅遺跡のことが掲載されました！

応援よろしく
お願いします。



ハラ君通信編集部

- ☆編集長 ハラ君（カマド神）
- ☆編集部員
 - （紙面担当）S
 - （資料担当）O
 - （記録・広報担当）U



幡羅遺跡の保存について

深谷市東方および熊谷市西別府に所在する幡羅・西別府官衙遺産群は古代郡役所跡として高い評価がされており、国史跡として保存すべき重要な遺跡であり、保存が強く望まれています。

保存の方針

地権者の同意を得て、熊谷市と連携し国の史跡指定を目指します。指定計画範囲は、約10ヘクタールです。将来的には公有化を目指していく考えです。